

委員会行政視察レポート

委員会では、先進的な取り組みを実施している他の自治体を視察し、その事例を岡山市の市政に反映できるよう調査・研究を行っています。

大都市制度・広域行政調査特別委員会

広島市では、広島県との合同研究会を設置し、類似する行政サービスを洗い出し、県からの事務移譲に積極的に取り組むなどの県との二重行政の解消について調査しました。また、久留米市では福岡県やうきは市と連携した新産業団地整備事業に取り組むなどの久留米広域連携中枢都市圏を、熊本市では地域の重要課題を市の施策に生かす地域ニーズ反映の仕組みの構築等の区役所のあり方を調査しました。



広島市役所

県との二重行政の解消を調査

自治体間調整問題調査特別委員会

岡山県は本市で実施する都市計画事業について、岡山県建設事業費市町村負担金徴収条例に基づき、一律50%の負担金を本市に請求しており、他都市の類似事例と比較して明らかに高率である等の問題があるため、他県の都市公園事業に係る市町村負担金について、千葉市および名古屋市の調査を行いました。



名古屋市役所

都市公園事業費の市負担を調査

こども未来創造調査特別委員会

立川市では、子ども未来センターが取り組む、子育て、教育、市民活動、文化芸術活動の支援、交流やにぎわいの創出について、松戸市では、国のこども誰でも通園制度モデル事業である、すまいるすまいる事業について、荒川区では、議員提案で策定された「子どもの権利条例」について調査しました。



荒川区役所

子どもの権利条例を調査

国際観光・文化交流促進調査特別委員会

ベトナム・ダナン市と交流を続け、また**もず**鳥・**ふるいち**古市古墳群を抱える堺市では、同市との交流と古代歴史遺産のインバウンド活用を調査しました。また、国内有数の外国人観光客を受け入れている台東区では、外国人観光客の受け入れ環境整備とムスリム観光客の受け入れを調査しました。東北地方の玄関口である仙台市では、外国人観光客の誘致戦略と市内外国人宿泊者数統計について調査しました。



堺市役所

古代歴史遺産のインバウンド活用を調査

議会運営委員会

岡山市議会では、議会機能の効果的な発揮、強化のため議会改革に取り組み、令和5年度は決算審査の充実を目的とした決算特別委員会を新たに設置し、決算の審査を行いました。同様に決算特別委員会で審査を行っている京都市を視察し、その運営を参考とするため調査しました。また、静岡市、名古屋市では、議会広報の強化や主権者教育推進の観点から、議会告知ポスターの作成、若者との意見交換会、小学生を対象とした子ども議会の運営を調査しました。



静岡市役所

若者との意見交換会、議会告知ポスターの作成を調査